

近藤 正彦さん（昭和63年卒）

株式会社 近藤設備 代表取締役

◇お仕事の内容を教えてください

公共施設、工場、オフィス、ホテル、病院、商業施設、集合住宅等、あらゆる建設物の配管工事を行う企業を運営しています。

具体的には給排水衛生設備、空調設備、消火設備などの設計、施工、配管加工などです。

◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

社員には「期待を超えて期待に応える」との社是を発信しており、社員の成長とそれをベースにした会社の成長が喜びです。

前を向いて成長し続ける会社でありたいとの思いが強く、自分自身についても「成長し続けたい」との思いがあります。

夢が叶うなら、もう一度、専北に入って高校生活をやり直したいですね。



◇将来の夢を教えてください

今、ベトナムから実習生が来ていますが、彼らを5年後に送り出す際にベトナムに現地法人を作り、事業展開したいと考えています。また、今の事業にとらわれず、色んなことをやってみたい。自分の思いを実現するプロジェクトを展開したいですね。具体的には、北上市と奥州市にまたがる稲瀬地区の山林等を取得し、大規模アウトドア施設を整備することを考えています。（※「ザ・キャンパス トロイカの森」を来年5月にオープンする、との記事が8月1日付の岩手日報朝刊の第一面を飾っています）

◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

陸上をやるために専北に入ったのですが1年で辞めることになりました。仲間が全国大会に出場するなど活躍する中、自分は挫折したとの思いをずっと持っていました。そんな思いを抱え、あり余るエネルギーのぶつけどころがなく、先生方の手を煩わせ随分と叱られました。卒業式の準備作業を課される等、特別な課題を頂いたのも今ではよい思い出ですが、そのように自分に厳しく接してくれた先生方に感謝がありません。

お世話になった先生に偶然出会うことがあります、県立と違い、先生方の異動がない、というのが専北の良いところだと思います。

◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

専北時代、挫折し先生に迷惑をかけ通しだった自分でも今、こんなことがやれています。

生意気なことを言わせて頂けるのであれば、「願えば叶う」wishes come true.

逆に、願わなければ叶わないと伝えたいですね。

☆取材後記

陸上部で活躍するとの夢を遂げられなかった悔しさを、新国立競技場建設工事の仕事を請け負うとの夢に変え、東京進出を果たした近藤さん。熱くて豪快で細心な方でした。（担当：Y）